



一月十九日夕刊

現代の世相と人間味
現代が人間味に缺如してゐることにわたたくしは多くの言葉を費す必要がない。まことに現代程温かみのない無趣味な殺風景な人間らしくない変態心理の持主の多い世の中はまたどうあるまい。凡てが権利義務の冷い関係である。凡てが経済的のせちからひ世の中である。理屈でなければ夜も日も明けぬ世の中である。とても『ものゝあはれ』も人

人間味もあつたものでない。最も甚だしい試みに町に出て劇場や活動寫眞のはねた有様を見よ。殆ど凡ての人は自然の感情をそのまゝ動作にあらはしてゐる。動作はか我れ先きに出ようとして人を押しつける。いがみ合ふ。なぐる。打つ。泣く。どこに浄化された感情を見出し得ようか。劇場出口は都會生活の縮圖だ。わたたくしが見る所では彼等から人間味を抜き去るものは決して單に経済的關係から来てゐるものではない。一々の事象について静かに其の真相を檢して見よ。悉くこれ感情の洗練せられざるにもとづかないものはない。花

左記の値段は日本の標準値に付御用の節は御問合願候。銘柄 拂込 時價
磐城銀行 五〇〇 五七〇
平銀行 五〇〇 六八〇
磐越銀行 一二五 一〇五
磐城實業 三〇〇 三〇〇
田村實業 一二五 一二五
四倉銀行 一二五 一二五
農工銀行 二〇〇 二六〇
同 新 一五〇 二〇〇
白七銀行 五〇〇 五三〇
同 新 一二五 一四五
七七銀新 一二五 九五
郡山電氣 五〇〇 三七五
同 新 二五〇 一七五
只見川電 一二五 六〇
植田水電 一二五 一四五
好問水電 一二五 一三五
磐城建物 一二五 五五
磐城製菓 二〇〇 六五
平信託 五〇〇 四五〇
磐城勸業 一二五 一三五
植田物産 三〇〇 二八〇
平製水 二〇〇 二二〇
好問軌道 五〇〇 三五〇
入山新 三二五 一九〇
小田炭礦 二五〇 七五
磐城炭礦 五〇〇 三八〇
同 新 二二五 一六〇
磐城セメ 五〇〇 九一〇
同 新 一七五 三七〇
丸登株式店
川添房二郎

丸登株式店
川添房二郎

常磐文藝
労働者の叫び
犬 憤 生
金!金!
たつた一枚の二圓紙幣のためには
たれば
土を掘る
木も切る
石も連ぶ
かうして終日機械の様にこき使はれる
たれの仕事の資本はすべてこの肉体だ
太い、固い

Advertisement for 'Hachijui' (八つひい) featuring a portrait of a man and text about a magazine subscription.

奉祝御成婚
開店五週年紀念
舊年末大賣出し
御客様御招待の會
お客様本位の廉賣期間
産地一流問屋出張大賣出し

それは来る.....
舊十二月十五日ヨリ十二月二十四日迄の間
新一月二十日ヨリ一月二十九日迄の間
平町一丁目横丁元寄席協楽亭に於て
弊店の催します大賣出しです
平町二丁目角
主催 伊關吳服店
電話 三三三番

丸登株式店
川添房二郎

募集
文藝其他一般
投稿を歓迎します
鐵のやうな俺の腕から迷る
方が...血潮が...肉が
夕方には
一圓紙幣はかへられるんだ
たればたれの
血をなめ
肉を食ひ
骨をしやぶつて
生きて行くんだ!

國際情報
實情情報
新年號賣切れ
二月號不日着本
新に御愛讀の方はなるべく發行前御申込み下さり度く主に月極讀者にのみ配付致して居りますのでごもすれば絶本の虞があります。尙ほ題號類似の模倣誌に御注意下さい

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める
平町長橋町三五
川崎回文庫
(申込次第規則書進呈)

寄書
現代の世相と人間味
B N 生投

寄書
現代の世相と人間味
B N 生投

寄書
現代の世相と人間味
B N 生投

カテイラン
完全な
戸締りの仕方
雨戸に一枚一枚横、猿落し猿をつければ申分ないのでありますが、最も簡単な方法としては横と下に孔をうがち五寸釘で隣の戸と敷

居ると差し貫いてたぐのであります。近頃この原理を應用した自動戸締りが各金物店等に有りますから、そのういふものを装置すると便利であります。しかし雨戸そのものについては今後改良を要する點がいくつもあります。戸すべりをよくする方雨戸や障子のすべりの悪る

常磐文藝
労働者の叫び
犬 憤 生
金!金!
たつた一枚の二圓紙幣のためには
たれば
土を掘る
木も切る
石も連ぶ
かうして終日機械の様にこき使はれる
たれの仕事の資本はすべてこの肉体だ
太い、固い

丸登株式店
川添房二郎

丸登株式店
川添房二郎

丸登株式店
川添房二郎

江名濱一隻も出ない

船主對船長間に圓滿を欠き
漁夫等が結束して同盟罷業

魚店の盤臺淋し

石城郡江名町は本縣唯一の
漁業地として縣下に其籠を
示して居たが昨今船主對船
長との間に軋轢を生じ兩三
日來出船せず紛擾を醸して
居る原因を聞くに昨年及び
一昨年兩年度の大漁に比し
て本年度は甚しく不漁の爲
め從來割合に餘裕ある生活
を爲しつゝあつた船長以下
の船員が困窮の結果俸給値
上を要求した爲め船主との
間に圓滿を欠くに至つたの
であつて未だに同濱からは
一隻も出漁しない爲め平町
魚店の盤臺甚だ振はず魚價
は非常の高價を示して居る

瀕死の重傷

江名濱の樁事
石城郡江名濱築港工事場の
工夫吉田大吉(二六)は昨十
二名か...

夜陰を破つて

絹を裂く女の悲鳴
出刃にて安房を滅つ太斬り
梅村検事現場へ

樓上の密議

對抗策を考究
石城郡内の各炭礦に一ヶ月
以前から労働同盟の幹部
と目すべきものが坑夫とし
て入り込み労働者をして
う少し優越なる生活を營ま
しむべき目的にて労働組合
組織の運動を初めたので平
警察署にて今朝炭礦所在
地の駐在巡查を召集し樓上
に於て忍かに伊藤署長から
警戒方の訓示を與ふる處あ
つたが舊正月に開かれる好
間村に於ける労働組合組織
の演説會には麻生久氏が來

女が少くない

戸数は三萬余
石城郡は
石城郡昨年度に於ける現住
人口は男九萬八千七百五十
七人、女九萬四千七百七十六
名、合計十九萬二千九百卅
九人であつて現戸数は三萬
二千五百三十九戸であるか
ら一戸平均五人九分三厘の
割合となる因に平町の人口
は二萬四千四十二人である

奉祝懇親會

平町教育會
平町教育關係懇親會にて
御慶事當日の二十六日正午
半から磐城高等女學校に於
て奉祝懇親會を催す由

大炭塊落下

坑夫粉砕惨死
石城郡磐野村小野田炭礦長
屋居住大阪府生れ坑夫安野
吉次郎(四九)は去る十六日
正午頃坑内にて採無作業中
大炭塊落下した爲め粉砕慘
死した

飯野消防任命

伍長や消防手
石城郡飯野村消防組にては
昨十八日附にて左の伍長及
び消防手任命さる

不平受付

椅子の設備 平町役場に
は一般控人の椅子がありま
せん、私共は立つた儘二三
十分間も待たされるので非
常に疲れる場合がありま
す町當局は町民を立ん棒と聞
明日休刊

奉祝懇親會

平町教育會
平町教育關係懇親會にて
御慶事當日の二十六日正午
半から磐城高等女學校に於
て奉祝懇親會を催す由

大炭塊落下

坑夫粉砕惨死
石城郡磐野村小野田炭礦長
屋居住大阪府生れ坑夫安野
吉次郎(四九)は去る十六日
正午頃坑内にて採無作業中
大炭塊落下した爲め粉砕慘
死した

飯野消防任命

伍長や消防手
石城郡飯野村消防組にては
昨十八日附にて左の伍長及
び消防手任命さる

不平受付

椅子の設備 平町役場に
は一般控人の椅子がありま
せん、私共は立つた儘二三
十分間も待たされるので非
常に疲れる場合がありま
す町當局は町民を立ん棒と聞
明日休刊

眞面目な問題

性慾の目的は高尚であるが性慾そのものは單なる肉欲である。單に飽滿を目的とするものであつて永遠の喜びではない、自我の小欲であつて、人類感も生命感も伴はない。戀愛は心的に、性慾は肉體的に、生殖生理完成に向つて必要不可欠の動力であるが、其等は手段であつて決して目的ではない。食物に味が無ければ營養の目的を達する事は出来なから物の味は大切な性質ではあるが、其は決して目的で無いのと同である。吾人は戀愛も性慾も健康者に必要な生理的享樂として一應之を尊重するけれども更に大なる尊敬を生殖欲に向つて拂はねばならぬ。子を持つた母は之を兩手に捧げて大に誇るがよい。性慾は強きを要する。戀愛の對象に對する理想は更に苛酷なるを要する。而して善き兒を持つ欲望は更に強烈である事を要する。性慾のみが強大となり性殖欲が滅弱して來ると國民に衰亡するの外はない

生徒談話會

磐中の主催
既報警中辯論部主催郡下小
學校生徒談話會は廿日午前
九時から郡議事堂にて開催
の筈

火防宣傳

飯野村を巡回
石城郡飯野村第一、第二兩
小學校の職員は本月生徒を
引率火防宣傳の唱歌を合唱
して大字を巡回した

統計研究役員

石城
郡統計研究會の會長及び副

水電總會

植田水力電氣株式會社にて
は本日午前十時株主總會を
開いたが配當は一割三分の
由

入山私設消防

石城郡
湯本町入山炭礦にては此程
私設消防組を設置し器具機
械の設備中である

平町人事

△五丁目 成瀬謙輔(三〇〇)
△揚土 藤井ヤエ(八三)

常磐片々

江名濱で漁夫の同盟罷業
沖合に船影を認めず魚屋は
干からびた盤臺を睨んで長
大息

一方炭礦では労働組合組織
の大悶着

山と海との労働問題に石城
の天地漸く多事ならんとす
此秋此際諸名署長のお腕
前は如何で御座んす

腕は鳴らぬがサーベルは鳴りやすか

此場合高壓手段は大禁物
暫らく血腥い殺傷沙汰の絶
わいた炭礦地に、突如絹を裂
く女の悲鳴

鈴木博士

明日磐城病院
で一般診療を
平町磐城病院顧問醫學博士
鈴木清藏氏は本日午後九時
卅一分平驛着にて來平翌廿

日是一般診療に従事する筈

であるが博士は斯界の權威
たる入澤博士門下の高材で
曩に宇都宮病院長として令
名あり殊に函館市の如きは
市費を以つて同氏を洋行せ
しめた程に其卓越した臨床
的の學識經驗は今や中央に
於て内科學の白眉と稱せら
れ入澤博士を始め密接の關
係ある栗本鐵道病院長及び
岡崎東京醫學教授の推薦に
依り同病院顧問に就任した
のであつて今後毎週日曜日
に來平の筈

磐東配當一割

石城
郡植田町磐東銀行は本日の
總會にて配當一割を決定し